

地球温暖化という世界的な環境汚染に対して、現在、国や企業ではさまざまな環境への配慮がされております。我々、印刷・製本業界でもグリーンプリンティング認定制度等の環境に配慮した工場での印刷製品を提供していくというまでになりました。

そこで我々、有限会社小川製本所は CO2 の排出削減に努める事へ動きだしました。

用紙や刷り色などはお客様の指定で変えることは出来ませんが、我々が出来る事は作業工程における無駄を省くことだと思われまます。これには、機械のセット時間の短縮や作業工程を少なくすることで使用するエネルギーを減らすことが出来ます。

また、材料は環境に配慮されたものを使用し、排出される裁落紙はリサイクル業者へ依頼し再生され再生紙となって循環されていきます。

しかし、我々の努力だけでは出来ないところもあります。

ページ数や面付けといったところで、作業の簡素化です。

例えば、本文 160P の小冊子を製本するとします。

本文・表紙大裁ち → 本文 16P 折 → 丁合 → 表紙くるみ → 三方化粧 → 包装

これが本文 158P になると

本文・表紙大裁ち → 本文 16P 折 → 2P 貼込 → 丁合 → 表紙くるみ → 三方化粧 → 包装

本文 8P 折

本文 4P 折

2P 減ることにより増える作業

- 16P を 10 台折れば良いものが 9 台に — 1 台分**減少**
- 8P 折のセット時間と作業時間 — セット時間と作業時間**増加**
- 4P 折のセット時間と作業時間 — セット時間と作業時間**増加**
- 2P 貼込のセット時間と作業時間 — セット時間と作業時間**増加**

16P 折が 1 台分減ったとしてもこれだけの作業時間が増えることとなります。

また 16P 折も仕上りサイズや用紙、面付けによって作業を**減らす**ことができます

A4 であれば本文用紙を A 列にし、面付けと印刷の上がり面、針、クワエによって大裁ちを**省く**ことも出来るのです。大裁ちには紙揃えの工程もありますのでその分の工程も**無くなる**こととなります。

※ここで挙げた例はほんの一例です。他にも作業工程やヤレを無くすための方法は色々あります。

このように無駄を省けば環境に良いことに繋がると思われます。

また、よりよい製品作りや不良品防止にもなると思われます。

環境も制作段階から始まります

我々は無駄を省くことから環境へ配慮し、よりよい製品作りに日々努力して参ります。